



A





C

さまざまな表現技法

- 一 体言止め…和歌・俳諧、詩などで、最後の句を体言（名詞）で終わらせること。
- 二 倒置…語順を普通と逆にすること。
- 三 反復…同じ言葉を何度も繰り返すこと。
- 四 対句…言葉や構成が同じまたは似ている二つの句がペアになるように並べること。
- 五 省略…文を途中で終わらせて、含みをもたせること。
- 六 直喩…「ようだ」などの語を使って物事を別のものに例えること。
- 七 隠喩…「ようだ」などの語を使わずに物事を別のものに例えること。
- 八 擬人法…人間以外のものを人間のように例えること。

☆ 条件

- ・ 主語をいれること。
- ・ 対句以外は一文で書くこと。

八	七	六	五	四		三	二	一
擬人法	隠喩	直喩	省略	対句		反復	倒置	体言止め
								選んだ写真
								C 例 夜の闇に赤が映える彼岸花。

さまざまな表現技法（解答例）

- 一 体言止め…和歌・俳諧、詩などで、最後の句を体言（名詞）で終わらせること。
- 二 倒置…語順を普通と逆にする事。
- 三 反復…同じ言葉を何度も繰り返すこと。
- 四 対句…言葉や構成が同じまたは似ている二つの句がペアになるように並べること。
- 五 省略…文を途中で終わらせて、含みをもたせること。
- 六 直喩…「ようだ」などの語を使つて物事を別のものに例えること。
- 七 隠喩…「ようだ」などの語を使わずに物事を別のものに例えること。
- 八 擬人法…人間以外のものを人間のように例えること。

☆ 条件

- ・ 主語をいれること。
- ・ 対句以外は一文で書くこと。

八	七	六	五	四	三	二	一
擬人法	隠喩	直喩	省略	対句	反復	倒置	体言止め
C	C	C	C	C	C	C	C
彼岸花が腕を広げて夜を抱いている。	真つ赤な花火が夜に咲く。	夜に咲く彼岸花はまるで花火のようだ。	彼は満開の彼岸花に近づいて。	赤色が映える夜。	黒色が広がる夜。	彼岸花が赤く赤く咲いている。	美しく咲いている、彼岸花が。
夜の闇に赤が映える彼岸花。							